

科目名	福祉科 社会福祉基礎	使用教材	教科書 『社会福祉基礎』（中央法規） 副教材
担当	吉岡 秀和		
単位数	2年次：2単位 総合進学コース（選択）	評価方法	定期考査，単元テスト 授業への取組み（積極的な学習態度や取組み等） 課題の提出 課外活動（ボランティア活動）

学習到達目標

- ・社会福祉に関する基礎的な知識を身に付け，現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに，社会福祉の向上を図る能力と態度を養う。

★授業について

この授業では，日常生活から派生するさまざまな課題に社会福祉が深く関わっていることを学びます。また，社会福祉は社会と切り離せない重要なシステムであることを理解し，生徒自身が関心を持って主体的に授業に取り組むことを望みます。

★自主学习について

新聞・テレビ等で報道されている福祉に関するニュースや日常的な時事問題にも関心を持ちましょう。そのためには，毎日 15 分程度は新聞報道やテレビニュースなど見る習慣をつけ，家の人と話をしてみましょう。また，福祉用語を覚えるため，授業の前にあらかじめ教科書を 1 回は下読みすることを勧めます。

休暇中にボランティア活動に参加しましょう。「社会福祉基礎」に興味や関心が持て，授業での学習効果が上がります。

★評価について

評価の観点

- ①社会福祉に対する興味・関心を持ち，これを追求しようとする意欲や姿勢があるか。（関心・意欲・態度）
- ②現代社会の諸課題を歴史的・制度的な視点から思考し判断する力があるか。（思考・判断）
- ③社会福祉に関する諸資料をさまざまな方法で収集し，有用な情報を主体的に選択し，活用できるか。（技能・表現）
- ④社会福祉の意義や役割について理解し，その知識を身に付けているか。（知識・理解）

月	週・時	単元	目標	学習の要点
4		第 1 章 わたしたちの暮らしと社会福祉	産業化・都市化や家族形態の変化、地域社会の変化などによる家族の扶養能力の低下や介護の社会化などに着目し、家族形態や生活構造の変容が社会福祉に大きく影響していることを理解する。家族のライフサイクルをモデルケースとして、時代の経過に伴う変化について着目し、各ライフステージにおける社会保障制度とのかかわりや福祉ニーズの変化などを理解する。	●社会構造の変容と社会福祉 ●少子・高齢社会と社会福祉 ●ライフサイクルと社会福祉 ◆予習、復習の習慣を身につけることができる ※互いに課題について話し合い、その内容を発展させることができる
5			また、各ライフステージでの社会保障制度については、人の一生と社会福祉が大きなかかわりを持っていることを理解する。	
6		第 2 章 社会福祉の考えと目的	社会福祉の理念が、経済的救済から自立生活支援へと変化してきたことに着目し、多様な自立生活を支える基本的な社会福祉サービスの考え方について理解する。	●社会福祉の考え方とその体系 ●社会福祉の目的と自立生活支援 ●自立生活支援と社会福祉サービスの考え方
7		第 3 章 欧米における社会福祉の歴史	社会福祉の理念社会福祉の理念については、日本国憲法が規定している生存権などに着目し、我が国の社会保障と社会福祉体系の概略、制度や民間活動としての社会福祉について理解する。	◆考査試験に対する姿勢や学習の仕方 を考査することができる
8			英国における社会福祉発展の概要を中心に学習し、福祉国家形成の過程を理解する。アメリカ合衆国やスウェーデンなどにおける社会福祉の歴史的展開についても触れ、現在の社会福祉にどう結びついているかを理解する。	●社会福祉制度の起こりとイギリスの歴史 ●アメリカの社会福祉の発展 ●ノーマライゼーション思想の生成、発展
9			我が国における社会福祉について明治以降を中心に学習し、歴史的展開を具体的に理解する。	●戦前の社会福祉の発展 ●戦後の社会福祉のしくみと発展
10		第 4 章 日本における社会福祉の歴史	生活保護制度が生まれてきた社会的背景、理念、現状について理解するとともに、公的扶助の課題について考える。	●公的扶助
		第 5 章 社会福祉分野の現状と課題	児童家庭福祉関係法が生まれてきた社会的背景、理念、代表的な社会福祉施策の概要と現状について理解するとともに、児童家庭福祉の課題について考える。	●児童家庭福祉
11			高齢者・障害者福祉関係法が生まれてきた社会的背景、理念、代表的な社会福祉施策の概要と現状について理解するとともに、高齢者・障害者福祉の課題について考える。	●高齢者福祉 ●障害者福祉
12			地域に働きかける援助としての地域福祉について、在宅福祉や施設福祉のサービスや社会福祉施設、関係機関に着目し、それらを総合して、その地域の福祉力を高める体系の一つであることを理解するとともに、地域福祉の課題について考える。また、地域福祉の推進を図るための福祉関連資源とその活用についても理解する。	●地域福祉
1		第 6 章 社会福祉の担い手と福祉社会への展望	福祉社会を創造していくためには、社会福祉従事者だけでなく、相互扶助の精神に基づいた国民一人一人の意識改革が必要であることについて理解する。	●社会福祉サービスにかかわる専門職制度と資格 ●専門従事者に必要な資質と技術 ●ボランティアの考え方と歴史的展開 ●<福祉国家>から<福祉社会>へ ※生涯にわたって学ぼうとする態度が育っている
2				

